

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種【その他】	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
名古屋大学	情報学部	3年	選択科目		サービス業		LEGOLAND Japan 合同会社	本講義では、身につけた知識や経験を生かしていくために、プロジェクトで経験を積むことを目的としている。具体的には、異なる学科、系の学生が即興でグループとなって、与えられた特定のテーマに対して解決方法やサービスを提案する。提案された解決方法やサービスは参加者全体によって評価する。これらを通して、受講生は知識を価値創出に適用することについて理解する。	
	工学研究科(大学院)	1年,2年	選択科目		製造業,電気・ガス業,通信業		NTT、中部電力、日本製鉄、東邦ガス、日本特殊陶業、デンソー	実社会で活躍する技術者・研究者(DP: Directing Professor)の下での自主的創造的プロジェクト。DPごとにプロジェクトテーマを設定し、異分野の受講生からなるチームを編成、課題発見・計画立案・実行、および成果発表を行う。	https://creator.cplaza.engg.nagoya-u.ac.jp/creative/ (名古屋大学Webページ))
名古屋市長大学	芸術工学部	2年	必修科目,その他	実習 選択必修 芸術工学実習4 映像制作D4	その他	名古屋競輪場内、株式会社JPF 競輪や自転車競技の運営普及	名古屋競輪場内、株式会社JPF および 名古屋市総務局アジア・アジアパラ競技大会推進部 アジア・アジアパラ競技大会推進課	実習(映像制作)によるPR映像制作(BMX)と公開競輪場での成果品公開。なお、次年度以降はJPF様とその他の自転車競技についてもコラボ実施の予定。以下は大学サイトから一部引用(参考まで 実績) ○大会周知に関する動画コンテンツの制作実装 芸術工学研究科教員による、若年層への効果的なアプローチ(SNS等)の調査を踏まえた大会の周知に関する動画コンテンツの制作実装により、大会の認知向上、機運醸成につなげます！(https://www.nagoya-cu.ac.jp/press-news/202506201530/)	https://www.youtube.com/watch?v=HV5jvVvHTKA (BMX競技 名古屋市 公式サイト) https://www.youtube.com/watch?v=aJUWkeVYtOk (名古屋市 公式サイト 出演 須田亜香里/タレント 元SKE48)
	芸術工学部	3年	その他	実習	その他	行政	名古屋市スポーツ市民局	自転車の交通安全啓発動画の制作	https://www.youtube.com/watch?v=17t5kRVgfSU (名古屋市長 公式サイト)
愛知東邦大学	経営学部	3年	選択科目,ゼミ・研究室		運輸業		ジェイアール東海バス株式会社	JR東海バスと連携し、オリジナルの旅行商品を企画・実施する。観光ルートの選定や体験イベントの考案、当日のツアー運営まで、企業と協働しながら学生主体で作り上げる。自分のアイデアを商品にすることができる実践的な授業である。	https://www.aichi-toho.ac.jp/archives/55231 (愛知東邦大学Webページ)
金城学院大学	全学部対象	1年,2年,3年,4年	選択科目		サービス業		株式会社エイチ・アイ・エス	本プログラムは、HIS社員と連携し、海外旅行商品がどのように企画・造成され、販売に至るのかを体系的に学ぶPBL型の実践プログラムである。2023年度は韓国、2024年度はタイ、2025年度は香港をテーマとし、航空会社(キャセイパシフィック航空)、香港政府観光局、中部国際空港(セントレア)など多様な実務者との連携を通じて、業界理解と企画力の育成を図る。HISグループの「パーパス「心躍るを解き放つ」を体現する旅行企画を企画・造成する。 序盤(1~5回)では、旅行業界の基礎理解を中心に、HISのツアー造成プロセス、航空会社の役割、香港政府観光局による訪問地の魅力・マーケティング戦略、店頭業務や団体旅行の実務を学ぶ。これにより学生は「誰のためにどのような旅行を作るか」という視点を持ち、企画の土台を形成する。 中盤(6~7回)では、観光ニーズ分析、ターゲット設定、行程作成、価格設定など、旅行商品の核となる部分をグループワークで構築する。HIS社員が授業内で随時フィードバックを行い、学生は改善プロセスを繰り返しながら企画を深化させていく 8回目には各グループが作成したプランの中間発表を行う。複数のHIS社員が実務視点から、実現可能性、安全性、販売性、差別化ポイントなどを踏まえた具体的な改善点を提示する。 9~12回では、広告プロモーション、海外支店の役割、空港業務などを学び、販売・提供側の視点を学ぶ。広告設計の授業では、SNS導線設計やキャッチコピー作成など、学生ならではの視点を活かしたプロモーションを学び、企画の説得力を高める体験を提供する。 終盤(13~14回)では、最終発表に向けたグループワークおよび本番のプレゼンテーションを実施し、学生は行程・価格・リスク管理・販売戦略を含む“実務レベルの企画書”を完成させる。香港政府観光局職員も審査に加わり、実務者の視点から講評を行う予定である。 15回目では結果発表および講評を行い、最優秀企画はHISにより商品化が検討される。実際に2023年度・2024年度の企画は商品化、販売されており、学生が自分の企画が社会にリリースされる可能性を実感できる点が特徴である。また、授業外においてもHIS社員がメールで相談に応じる仕組みを整え、学修支援とフィードバックを強化している。 これらを通じて学生は、企画力・分析力・協働力・リーダーシップなどの実践力を身につけ、旅行業界の実務に近いリアルな体験を得ることができる。	https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/projects/detail/?id=28 (金城学院大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
7	金城学院大学	生活環境学部 食環境栄養学科	3年	ゼミ・研究室		小売業,飲食業, サービス業	株式会社 大丸松坂屋百貨店(松坂屋名古屋店)、株式会社八百彦本店、有限会社寺田三五郎商店(一栄)	<p>本プログラムは、松坂屋・八百彦・一栄との産学連携により、季節商品であるおせち料理の企画から開発、販売に至るまでのプロセスを体系的に学ぶ教育プログラムである。グループワークと企業からのフィードバックを繰り返しながら、学生が実際の商品開発に携わることで、実践的な学びを得る構成とした。</p> <p>【提供した体験・学び】</p> <p>1. 市場理解と調査分析を実践的に体得し、コンセプト立案につなげる(第1~5回) 学生は、おせち料理の歴史・文化的背景を調査し、過去のカatalog等からおせち料理の傾向を理解した。さらに約50名を対象とした学内アンケートを通じて、若年層のおせちに対する意識や好まれる料理を考察し、「消費者視点に基づく企画」を実験として学んだ。 これらを踏まえて立案したコンセプト「おせちdeティータイム」は、従来伝統料理のみで構成されていたおせち料理にスイーツを加えることで、若者が親しみを持てる新しい付加価値を生み出した。</p> <p>2. 企業の専門性を理解し、現実的な商品開発を学ぶ(第6~8回) 企業からのフィードバックでは、冷凍配送に耐え得る食材の制約や製造工程の制限など、実際の製品化には多様な条件が伴うことを学んだ。冷凍配送に適合しない料理については再提案を繰り返した。このプロセスにより「実現可能性を踏まえた企画」が重要であることを理解した。またおせち料理にスイーツを導入するため、和菓子店・一栄が新たに開発に参加することとなった。この経緯からコンセプトの魅力が企業間連携を生み出すことも学んだ。</p> <p>3. “見せ方”の重要性を学ぶ(第9~12回) 料理案の最終検討と並行して、学生はカatalog掲載案の作成、しおりや重箱の蓋デザインを考案した。ここでは、商品そのものの良さに加え、「魅力的な伝え方」が購買意欲を左右するという、マーケティングの視点を学ぶことができた。コンセプト立案からデザインまで一連の企画を担うことで、商品づくりに関する多角的な思考の重要性を理解した。</p> <p>4. 社会に発信する力の習得(第13回) マスコミ向けお披露目会へ参加し、自ら考案した企画について伝統性と新規性の両面からプレゼンテーションを行った。商品PRの実践を体験するとともに、社会に自分の企画を届ける重要性を学んだ。 本プログラムを通じて学生は、調査分析からコンセプト立案、料理開発、ビジュアル制作、PRまで、商品開発の全工程を一貫して体験した。これは単なる「料理」を考案するにとどまらず、「主体的に考え、自らの意見を企画として形にする力」を育成する実践的学習である。学生は企業と協働しながら、実社会で求められる企画力・協働力・表現力を総合的に学ぶことができた。</p>	https://www.kinjo-u.ac.jp/ja/projects/detail/?id=11 (金城学院大学Webページ)
8	相山女学園大学	生活科学部生活環境デザイン学科	1年,2年,3年,4年	ゼミ・研究室	その他	商社	瀧定名古屋株式会社・名古屋市身体障害者福祉連合会第一ワークス・第一デイサービス	生活環境デザイン学科の有志学生(1-4年)が参加するululaの活動で連携している。年に8回程度エシカル関連のマルシェに参加している。マルシェ以外にはやながせ倉庫団地で常設販売を行っている。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd000000c66u.html (相山女学園大学Webページ)
9		情報社会学部情報デザイン学科	1年	必修科目	製造業		株式会社デンソー	基礎演習において株式会社デンソーと協働で社会課題を解決するアイデアソンを実施し、アイデアソンでまとめたアイデアを発表するポスター発表会を実施した。また、アイデアソンを実施するために企業でも行われているアイデア創出のトレーニングもデンソーと連携して行なった。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd000000c8pi.html (相山女学園大学Webページ)
10		現代マネジメント学部現代マネジメント学科&情報社会学部情報デザイン学科	2年,3年,4年	ゼミ・研究室	小売業,不動産業		株式会社名古屋三越	2025年度の1年間に渡って、現代マネジメント学部の展開演習A・Bに参加している3年生が、情報社会学部の3・4年生のゼミ生と合同で、星ヶ丘三越が30~40代にどのように訴求するかをテーマとして、研究した。具体的には、相山の卒業生とのインタビューを質的研究法を用いて分析した上で、名古屋三越側からのインプットやフィードバックを踏まえてブラッシュアップした解決策を提案した。	https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd000000bvm0-att/2509229mitsukoshi.pdf https://www.sugiyama-u.ac.jp/univ/news/ogo7gd000000eux1.html (相山女学園大学Webページ)
11	中京大学	経営学部	2年	インターンシップ	製造業		日本新聞インキ株式会社	飛騨市では、ヨシの繁殖により池ヶ原湿原の生態系が崩れることを防ぐため、地域の方がヨシ刈りを行ってきたが、ヨシを活用する事業がなく、これまで大量のヨシを廃棄していた。日本新聞インキ株式会社は、環境に配慮し、社会の役に立つ事業を行いたいという思いから、飛騨市と連携し、刈り取ったヨシを商品化することで、市内の未利用資源の活用による地域経済循環の創出と二酸化炭素排出抑制を目指す「池ヶ原湿原ヨシ活用プロジェクト」がスタートした。同社はヨシからできる繊維を使用し、タオルやTシャツなど様々な商品を展開しており、本学経営学部の学生はこれらの商品の販路拡大を行うインターンシップに取り組んだ。	https://www.chukyo-u.ac.jp/news/2025/07/025548.html (中京大学Webページ)
12	中部大学	応用生物学部経営情報学部	1年	その他	授業外の時間	製造業	スジャータめいらくグループ	説明会后、参加者が各自で試作中(4か月間、大学調理室解放日あり)である。今後はレシピを提出、企業の担当者による試食後、別日で一次および二次選考会を開催予定である。	
13		経営情報学部	1年	選択科目		製造業	佐橋工業株式会社	企業の抱えるリアルな課題を解決する。	
14		経営情報学部	2年	選択科目		製造業,小売業, サービス業	株式会社ISOWA、株式会社オークワ、ホンダロジコム株式会社	業界の仕組み、業界の課題、業界の取り巻く環境を学び、協力企業が抱えている現在の課題を検討し解決方法を提案する。	
15		経営情報学部	3年	選択科目		その他	卸売業	株式会社マルト水谷	マルト水谷が新たに取り組む予定のビジネスについてのプロモーションや販売方法について提案する。

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
16	経営情報学部	2年	選択科目		製造業		パンプキン	パンプキンと一緒にパンを題材として、マーケティングの一連の流れを学習する。	
17	応用生物学部	1年,2年,3年	その他	授業外の時間	製造業		スジャータめいらくグループ	説明会后、参加者が各自で試作し(4か月間、大学調理室解放日あり)レシピを提出後、企業の担当者が試食および助言した。別日の選考会で試食およびプレゼンを行った。後日優秀なレシピに賞が贈られ、企業のHPIに掲載された。	
18	応用生物学部、経営情報学部	3年	ゼミ・研究室		飲食業		まるや本店	食品栄養と経営の学生が混合するグループごと(5名×6班)に春夏秋冬のレシピを考案、複数回試作した(6か月間)。調理長に向けて試食およびプレゼンを行い、後日「ひつまぶし御膳」としてお店で提供された。各学生の専門性を活かし、協働して成果を創出した。	https://dg.chunichi.co.jp/fukaboritokai/culture/18491/ (フカボリトウカイWebページ)
19	応用生物学部、経営情報学部	3年	ゼミ・研究室		小売業		オークワ	食品栄養と経営の学生が混合するグループごと(5名×6班)に春のお弁当レシピを考案、複数回試作した(5か月間)。企業の担当者(10名)に向けて試食およびプレゼンを行った。現在、実際の販売に向けて進めている。各学生の専門性を活かし、協働して成果を創出した。	
20	中部大学 人文学部	3年,4年	必修科目,ゼミ・研究室		製造業		コーミ株式会社	ゼミにおいて、コーミ株式会社と「中部大学・コーミコラボプロジェクト」を推進し、以下の活動を行なっている: 1. コーミのSDGs活動の支援として、「第5回SDGsフェスタ×防災?イース春日井:春日井発信、地域のゴールを見つけよう」(NPO法人あいちかすがいっこ主催)に参加し、コーミとの協働で制作した「SDGsかるた」を子供たちと行なうことで、日頃の生活の中からSDGsや防災について知ってもらうきっかけづくり。 2. 愛知県国際展示場で開催された「SDGs AICHI EXPO 2026」に於いて、コーミとのSDGs普及への取組についてポスター発表。 3. 勝川駅前商店街の「ミニ弘法市」に於いて、春日井市の名産品のサボテン(ピクルスにしたもの)を使って「サボドッグ」を販売。調味料としてコーミのケチャップを宣伝し、合わせて同社にSDGs達成への取組も発信。 4. 春日井市総合体育館で開催された「ママの文化祭」(NPO法人あいちかすがいっこ主催)において、離乳食レシピ配布、食育等に関する情報誌配布、クイズ実施等。 5. イース春日井に於いて、「レンチンで簡単!食べて美味しい・コーミデコお好み焼き試食&食育セミナー」開催。離乳食に関する情報提供やレシピ配布、クイズ実施等。 6. くんばるハウス出川、および、くんばるハウス神領に於いて、コーミとの協働で制作した「SDGsすごろく」を子供たちと行なうことで、特に食に関係するSDGs達成のために日頃からできることについて知ってもらうきっかけづくり。 7. コーミとのコラボInstagramのアカウントの運営(週1回チームで投稿)。	
21	工学部	3年	インターンシップ		製造業		㈱カワイ、三甲㈱、中外テクノス㈱、㈱DJK、東洋樹脂㈱、山宗㈱	本学科専門教育科目は、「ものづくり」や環境技術の修得などに必要な知識・能力を身につけることを目的とするものである。スペシャリストコース学生を対象に、企業におけるインターンシップ研修を通じ、大学から社会人への接続教育を行う。得られた結果をまとめ発表を行う。この実習を通して、デザイン能力、マネージメント能力、表現能力、プレゼンテーション能力などを身につけることができる。 企業などで実習・研修を行い、実習報告書・プレゼンテーション作成を通じて調査・情報収集力およびプレゼンテーション力を向上させることにより、また、以下に示した事柄を達成することにより、多様性・協調性および実行力を養うことができる。 (1)与えられたテーマを理解し問題点を考えることができる。 (2)問題点を解決するための提案ができるようになる。 (3)得られた結果をまとめ、プレゼンテーションし、報告書を作成することができる。	https://tora-net.sti.chubu.ac.jp/portal/sbssbdr.do?value(risyu-ken)=2026&value(semekikn)=1&value(kougicd)=12543&value(crclumcd)=01011600002016 (中部大学Webページ)
22	名古屋外国語大学 外国語学部 英語学科	1年,2年	選択科目,インターンシップ		その他		オーストラリア現地の教育機関 International Student Services	英語学学科英語教育専攻が主催する、海外研修のプログラムである。オーストラリアの幼稚園・小・中・高等学校にて日本語の授業のティーチングアシスタントとして授業補助に参加するインターンシップを実施する。 計6週間の研修期間の内、前半3週間は提携しているグリフィス大学にて外国語教授法を中心に学ぶ語学研修を行う。後半3週間は、1人一学校に配属され、日本語の授業の補助などを行うインターンシップに参加する。	https://www.nufs.ac.jp/interchange/student/short-middle-term/reports/ (名古屋外国語大学Webページ)
23	名古屋学院大学 経営学部	2年	必修科目		製造業,小売業,その他	農協	株式会社スギ薬局、コーミ株式会社、JAひまわり	講義名:ビジネス価値創造演習Ⅱ 上記3社より企業の財務データやキャンペーンデータ、POPデータなどを教材として提供いただき、データ分析や課題発見、仮設の検証、戦略立案・提言など3分野にて実施した。 ビジネス価値創造演習Ⅱのシラバスより抜粋 ↓ 本科目は、3年次以降に専門的に研究し学修する分野を選択する意思決定において大切な演習科目です。今までに履修し修得してきた知識やスキルを活かして、ビジネス価値の創造プロセスを3回繰り返し体験します。具体的には、【経営】【マーケティング】【先端ビジネス】の分野ごとに「経営分析手法/データサイエンス」の知識・スキルを掛け合わせ、ビジネス価値を創造し企業等にプレゼンテーションを行い、評価・フィードバックの機会を持つPBL型演習です。企業等と連携しつつ学内で受講する教育型インターンシップとして開講します。 本科目での学びの成果は分野ごとの最終講義にて報告するほか、春休み期間中に開催する企業等連携先を招いた「学修成果報告会」にて披露します。ビジネス価値創造のプロセスを体験することにより、学びを定着させビジネスに活かす楽しみを体感してください。同時に、自らの課題を把握する機会として、卒業までの目標を見つけ、発展科目履修の参考としてください。	https://www.ngu.jp/attempt/b.202509231/ (名古屋学院大学Webページ)
24	外国語学部	1年	必修科目		運輸業		トランコム株式会社、株式会社フジトランス コーポレーション	学生は協力企業から直接課題を受け取り、グループで解決策を検討し、まとめた解決案を学部全体で発表し、企業からフィードバックを受けることで、企業調査のノウハウを学びながら、社会参画への意欲を早期から持つことができる。	https://www.ngu.jp/attempt/f.250710/ (名古屋学院大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
名古屋学院大学	国際文化学部	2年	必修科目		製造業,運輸業,小売業,飲食業,サービス業		株式会社ジェイアール東海ホテルズ、公益財団法人名古屋国際センター、株式会社映像センター、株式会社マザーハウス、株式会社トーマコーポレーション、旭運輸株式会社	20名程度の集団での企業訪問(引率教員付き)	https://www.ngu.jp/attempt/w.251117/ (名古屋学院大学Webページ)
	商学部	2年,3年,4年	ゼミ・研究室		飲食業,その他	商店街振興組合	金山商店街振興組合	専門演習活動の一環として、大学の立地している熱田区内の商店街の一つである金山商店街振興組合と連携した取組を実施している。取組内容は、商店街が開催する複数のイベント運営をサポートしている。またイベントに出店する際の商品企画から販売までを学生主体で行う。この活動を通して、商店街の組合員の意識変化や地域の活性化を目指している。	https://www.ngu.jp/attempt/c.251104/ https://www.ngu.jp/news2/media251101-5-64335/ (名古屋学院大学Webページ)
	商学部	3年	ゼミ・研究室		小売業		アートブレッド ベーカリーピカソ	ダイバーシティ・マネジメントの学びの一環として、多様性を重視した採用方法をとっているベーカリーピカソさんから、なぜこの採用方法をとるのか、この方法による効果は何か、そして課題と展望を教示いただく。さらに、この縁から、ベーカリーということで、学生らしいパンの商品開発をさせていただき、ベーカリーピカソさんとゼミのコロナ商品を販売している。	① https://www.ngu.jp/attempt/c.250916/ (名古屋学院大学Webページ) ② https://www.ngu.jp/media/20250911.pdf (名古屋学院大学Webページ) ③ https://www.instagram.com/reel/DMkHjpIPawk/ (ベーカリーピカソ Instagram) ④ https://www.instagram.com/reel/DMw_mUmPpdS/ (ベーカリーピカソ Instagram)
	商学部	2年	選択科目		製造業,運輸業,小売業,サービス業		株式会社O-GOE、キャリアオ技研株式会社、サンエイ株式会社、株式会社スギ薬局、中京陸運株式会社、ミライリスホールディングス株式会社、ユナイト三重株式会社	キャリア講座1・2は、企業・団体等での活動の体験を通して、将来の進路選択や社会との関わりが必要となる実践的な知識やマナーを身につけることを目的とした科目である。授業では、就職活動やインターンシップに臨む際に求められる基礎的素養を学ぶとともに、修得した知識・技能を活用し、商業や企業経営に関する諸課題に対して主体的に考え、解決策を探究する力を養う。また、自ら課題を発見し、それに対して適切に思考・判断し行動する力の育成を重視する。講義では、協力企業の担当者による講話に加え、企業から提示されたテーマに基づき、学生がチームで課題解決に取り組む。必要に応じて現場の視察や文献調査を行い、ディスカッションを通じて解決策を構築し、プレゼンテーションとして発表するなど、アクティブラーニングを中心とした実践的な学修を展開する。これらの取組を通じて、学生自身が主体的にキャリアを考える契機とすることを目指す。	
	経済学部	1年,2年,3年	選択科目		電気・ガス業,通信業,金融・保険業,サービス業		中部電力・三井住友銀行・プロトコーポレーション・名鉄観光サービス株式会社	企業から実際に直面する課題をいただき、データ分析などから解決策を導く。最終案をプレゼンし、企業からコメントをいただく。	https://www.ngu.jp/economics/bip/ (名古屋学院大学Webページ)
現代社会学部	1年,2年,3年,4年	インターンシップ		小売業,飲食業,サービス業		株式会社妙香園、チャリチャリ株式会社、株式会社 musbun	大学での事前・事後学習を含む長期インターンシップ	https://www.ngu.jp/social/action/katudou/ (名古屋学院大学Webページ)	

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
31	名古屋学院大学	現代社会学部	1年,2年,3年	ゼミ・研究室		サービス業,その他	名古屋青年会議所、愛知中小企業家同友会	名古屋青年会議所「名古屋人間力大賞の共同プロジェクト」、愛知中小企業家同友会「インターシップへの参加」、中電クラビス「同社商品サービスの営業戦略PBLワークショップ」、株式会社マーブル「就活アプリ改善策検討PBL」	名古屋青年会議所「名古屋人間力大賞の共同プロジェクト」 ① https://www.ngu.jp/attempt/g_2505008-2/ ② https://www.ngu.jp/media/20251107.pdf 愛知中小企業家同友会「インターシップへの参加」 https://www.ngu.jp/attempt/g_250917/ 中電クラビス「同社商品サービスの営業戦略PBLワークショップ」 https://www.ngu.jp/attempt/g_251008/ 株式会社マーブル(サービス業)「就活アプリ改善策検討PBL」 https://www.ngu.jp/attempt/g_20250827/ (以上、名古屋学院大学Webページ)
32	名古屋国際工科専門職大学	工科学部	2年	必修科目		製造業	トヨタ紡織株式会社 他	名古屋市・愛知県の自治体や企業等が抱える地域課題を対象に、IT技術やデジタルコンテンツ技術を活用し、PBLとデザイン思考を通じて実践的な解決手法を検討することを目的とし、地域課題に対する実践的な問題解決力の修得を図っている。「名古屋の街をもっと楽しめる／知りたくなるデジタルコンテンツの提案」をテーマにトヨタ紡織株式会社と連携し、新型公共交通機関SRT車内で提供される動画コンテンツを制作した。位置情報とリアルタイムで連動し、窓外の観光スポットに合わせてキャラクターが解説やクイズを行う仕組みを企画・設計した。	● https://www.iput.ac.jp/nagoya/eyes/9571/ (名古屋国際工科専門職大学Webページ) ● https://www.nikkei.com/article/DGXZQOFD065ND0W6A200C2000000/ (日本経済新聞記事)
33		工科学部	2年,3年,4年	必修科目		建設業,製造業,通信業,小売業,サービス業	ソニー株式会社 他	実習先事業者が提供するSoundARサービス「Locatone」を題材に、サービスやコンテンツ、ソフトウェア関連製品、ならびに業務内容やビジネスプロセスへの理解を深めることを目的としている。学生は、街歩き体験を目的とした音声ARコンテンツについて、企画・立案からプロトタイプ制作までを実体験し、デジタルコンテンツ制作の一連の流れを学ぶ。制作したコンテンツはグループ内で相互検証を行い、利用体験や課題、改善点について報告書としてまとめる。なお、実制作した「Locatone」コンテンツは、一定のクオリティを満たすことを前提に、アプリ内の無料コンテンツとしてリリースされ、実社会での公開を見据えた実践的な学習を通して、問題解決力の修得を図る。	https://www.iput.ac.jp/nagoya/eyes/9277/ (名古屋国際工科専門職大学Webページ)

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
34	名古屋商科大学	商学部	2年	必修科目, 選択科目		製造業, 小売業, 飲食業, サービス業	<p>愛知牧場(観光牧場/日進市)</p> <p>荒川工業株式会社(金属加工業/日進市)</p> <p>株式会社カボックス(和洋菓子の製造・販売/日進市)</p> <p>ヤクルト東海(ヤクルト商品の販売/日進市)</p> <p>野々山籐屋(籐製品の製造・販売/東郷町)</p> <p>名古屋フランスcorp株式会社(菓子の製造・販売/豊田市)</p> <p>有限会社愛知兄弟社(愛知牧場/日進市)</p> <p>愛知高速交通株式会社(リニモ/長久手市)</p> <p>有限会社ケイ・シーファクトリー(パティスリーミルグレイ/日進市)</p> <p>日進市商工会(にっしんブランド/日進市)</p> <p>合同会社hitohana(ハコとルコ/日進市)</p> <p>株式会社ファーマーズ・フォレスト(道の駅 マチテラス日進/日進市)</p>	名古屋商科大学 商学部は、議論して学ぶ「ケースメソッド」と体験して学ぶ「フィールドメソッド」を効果的に組み合わせた2022年度の集中プログラム(インテンシブ教育プログラム)を開始。「ケースメソッド」と「フィールドメソッド」の相乗効果で問題解決能力やコミュニケーション能力を備えた未来のリーダーを養成。インターン先の地元企業の広報動画を商学部ならではのマーケティング視点を踏まえて制作。「愛知県の持続的発展」や、自然と人間の共生といった「SDGsの推進」につながるような広報動画を制作。	<p>https://www.nucba.ac.jp/press/commerce/entry-26243.html</p> <p>https://www.nucba.ac.jp/press/commerce/entry-24374.html</p> <p>https://www.nucba.ac.jp/commerce/news/entry-24910.html</p> <p>https://www.nucba.ac.jp/intensive/ (名古屋商科大学Webページ)</p>
35	南山大学	全学部	2年,3年,4年	選択科目	サービス業, その他	医療・福祉、教育	一般社団法人グローバル愛知、社会福祉法人AJU自立の家、ジェトロ名古屋、名古屋大学	連携する企業や団体、官公庁と事業を進める上での問題や課題について共有し、その解決策やアイデアをCOIL型授業で海外の学生と調査、議論し、提案する実践型の授業	https://office.nanzan-u.ac.jp/ncia/on-campus/joint/ (南山大学Webページ)
36	日本福祉大学	看護学部	4年	選択科目	その他	NPO法人	NPO法人みらい	<p>1) 団地周辺の地区踏査を行い外国人住民の生活環境について理解を深めた。</p> <p>2) NPO法人みらいの設置経緯や目的、活動についての講話を通して学びを深めた。</p>	https://www.n-fukushi.ac.jp/syllabus/syllabus2025/kango_kamoku/180_GB110501.html (日本福祉大学Webページ)
37		経済学部	3年	ゼミ・研究室	サービス業		株式会社あいち銀行	経済学部で地域金融を学ぶ谷地ゼミ所属の3年生15人が、あいち銀行、Plus Fukushi株式会社と連携し、「月商100万円の福祉ビジネスを構想し、ピッチする」に取り組んでいる。約3か月間、高齢者をターゲットとした新たな事業について検討を重ね、最終報告会では、あいち銀行の執行役員が出席し、学生たちが自ら練り上げたビジネスモデルの提案報告会を行い、企画のプレゼンテーションも行った。	

●県内大学における企業等と連携して実施したPBLの取組事例一覧(2025年度)

大学名	対象学部	対象学年	授業形態	授業形態【その他】	協力企業等の業種	協力企業等の業種【その他】	協力企業等名	講義及び取組の概要	Webページ
38 日本福祉大学	工学部	4年	ゼミ・研究室		製造業		JFEスチール株式会社	2025年10月にJFEスチール株式会社知多製造所と日本福祉大学が「ビオトープ知多における研究・教育協力に関する協定」を締結した。 本協定に基づき、工学部建築学専修1年生が正課授業でビオトープ知多を訪れた。また、福田秀志研究室所属建築バリアフリー専修4年生の研究成果発表として、「JFEスチール知多製造所における〈カーボンマイナスの森〉の設計提案」が行われ、早生樹「センダン」の育成試験結果を踏まえ、CO2吸収にとどまらず、間伐材の活用までを見据えたカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが提案された。本提案を受け、JFEスチール株式会社では、実現に向け、動き出している。	https://www.n-fukushi.ac.jp/education/academics/engineering/news/2025/06/12/5c3599a3a2e980703d918362d7ae0bbff811fd7.html (日本福祉大学Webページ) https://www.n-fukushi.ac.jp/about/news/2025/10/14/2d96ce778c5c291ef21e6537001d115f9e337ee5/pdf/media2025100601.pdf (日本福祉大学Webページ) https://www.jfe-steel.co.jp/works/chita/release/251007.pdf (JFEスチールWebページ) https://www.n-fukushi.ac.jp/research/research-support/funding-support/regional-collab-grants/pdf/202403.pdf (日本福祉大学Webページ)